

建設工業新聞
2025年11月28日（金）
3面 福井版

行政実務
担当者ら
最新技術なび学ぼう

公共測量の円滑化へ講習行う

日本測量協会 北陸支部



公益社団法人日本測量協会（清水英範会長）は20日、公共測量の円滑化に向けて講習会を開催し



廣田 所長

た。会場は、福井市宝永3丁目の県国際交流会館で写真。冒頭、同協会の測量技術センターの廣田三成所長が挨拶し、意義を強調。2005年4月の品確法施行に始まった講習会で、公共測量業務を発注する国や地方公共団体の実務担当者が対象。法的な手続きや測量内容、最新の測量技術の活用、測

量成果の品質確保について理解を深める狙い。23年度まで、全国で延べ149会場で開催し、参加者総数は9985人。ことは9月の千葉市を皮切りに、全国11会場で開催され、福井市の開催は4年ぶり3回目。後援は、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省国土地理院の北陸地方測量部、福井県。公共測量の理解促進の一助とし、公共測量成果の品質確保と、行政の円滑な推進に役立ててほしいとしている。

- ◆講演 国土地理院の最近の動向
北陸地方測量部長 白井宏樹
- ◆測量法と公共測量の手続き
北陸地方測量部 測量課調査係長 半田優実
- ◆公共測量で実施する基準点測量
北陸支部技術センター 測地検査担当 岩原州杜
- ◆数値地形図作成における新技術の活用
測量技術センター測量監理担当 渡辺信之
- ◆公共測量成果の品質確保
北陸支部技術センター長 根本悟